

議案等と審議結果

平成26年第4回定例会 平成26年(2014年)12月1日～12月18日			議決結果	会派( )は所属議員数 (自由民主党・明政会の議員数は、議長を除く数)										
議案名				(4 自 民 政)	(3 共 産)	(3 ネ ッ ト)	(2 公 明)	(1 社 民)	(1 民 主)	(1 維 新)	(1 つ む ぎ)	(1 こ ぶ し)	(1 緑)	(1 み ら い)
予 算	第68号議案	平成26年度国立市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案 予算の歳入歳出それぞれに6,794万8,000円を増額する。 主な補正内容:保険給付費及び諸支出金等の増額	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第69号議案	平成26年度国立市下水道事業特別会計補正予算(第2号)案 予算の歳入歳出それぞれに672万円を増額する。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第70号議案	平成26年度国立市介護保険特別会計補正予算(第2号)案 予算の歳入歳出それぞれに443万9,000円を増額する。 主な補正内容:職員手当の増額、認定審査会委員報酬の減額、介護予防事業費の委託料の減額、介護予防活動支援事業の新設、財政調整交付金の確定に伴う国への返還金の追加	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第71号議案	専決処分事項の報告及び承認について【平成26年度国立市一般会計補正予算(第4号)案】 予算の歳入歳出それぞれに2,538万2,000円を追加する。 主な補正内容:衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を執行するための関連経費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第72号議案	平成26年度国立市一般会計補正予算(第5号)案 予算の歳入歳出それぞれから6,855万4,000円を減額する。 主な補正内容:決算見込みによる増減のほか、職員構成の変動等による職員人件費等を減額、オンブズマン制度審議会設置に伴い委員報酬等の増額、平和関連講演会講師謝礼の増額等	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第78号議案	平成26年度国立市一般会計補正予算(第6号)案 予算の歳入歳出それぞれに5,242万1,000円を増額する。 主な補正内容:職員の給与に関する条例改正案等の提出に伴う、給料、職員手当及び共済費。特別会計の人員費の財源として繰入金の変更	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第79号議案	平成26年度国立市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)案 予算の歳入歳出それぞれに100万8,000円を増額する。 主な補正内容:職員人件費の増額	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第80号議案	平成26年度国立市下水道事業特別会計補正予算(第3号)案 予算の歳入歳出にそれぞれ115万6,000円を増額する。 主な補正内容:職員人件費の増額	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第81号議案	平成26年度国立市介護保険特別会計補正予算(第3号)案 予算の歳入歳出それぞれに187万4,000円を増額する。 主な補正内容:職員人件費の増額	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第82号議案	平成26年度国立市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案 予算の歳入歳出それぞれに26万2,000円を増額する。 主な補正内容:職員人件費の増額	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
決 算	認定第1号	平成25年度国立市一般会計歳入歳出決算(継続審査分)	認定	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○
	認定第2号	平成25年度国立市国民健康保険特別会計歳入歳出決算(継続審査分)	認定	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	認定第3号	平成25年度国立市下水道事業特別会計歳入歳出決算(継続審査分)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
	認定第4号	平成25年度国立市介護保険特別会計歳入歳出決算(継続審査分)	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第5号	平成25年度国立市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算(継続審査分)	認定	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○
条 例	第59号議案	国立市オンブズマン制度審議会設置条例案 オンブズマン制度に関して審議するための附属機関「国立市オンブズマン制度審議会」を設置。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第60号議案	国立市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例案 第3次地方分権一括法の成立により地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第61号議案	国立市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例案 第3次地方分権一括法の成立により指定介護予防支援の人員並びに事業の運営及び介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を市町村で定める。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第62号議案	国立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例案 子ども・子育て支援法の規定に基づき、国立市における特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第63号議案	国立市いじめ防止対策推進条例案 国立市立学校におけるいじめの防止等のため基本理念を定め、責務を明らかにするとともにいじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するための条例制定。	修正 可決	×	○	○	×	○	×	欠	×	○	○	×
	第64号議案	国立市議会議員及び国立市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案 選挙運動用ポスター作成費の金額を改める。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第65号議案	国立市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案 都市計画税の税率の減額特例措置を29年度まで延長する。	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	×	○
	第66号議案	国立市保育費用徴収条例の一部を改正する条例案 児童福祉法の改正に伴い、規定の整理を行う。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第73号議案	国立市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案 一般職の任期付職員の採用に関する法律に規定されている専門的な知識経験を有する者を採用するための必要な事項を定め、特定任期付職員の給料表を改定し、期末手当の支給率を引き上げる。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	第74号議案	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案 年次休暇の付与期間を暦年から年度に変更し、出産支援休暇並びに育児参加休暇を新設し、忌引日数の起算日を改める。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
第75号議案	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案 職員の給料表を改定し、平成27年3月期の期末手当及び平成27年6月期以降の勤勉手当について支給率を引き上げる。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
第76号議案	市長等の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例案 市長および副市長に支給する期末手当の支給率を引き上げる。	○	○	×	×	○	×	○	欠	○	×	×	○	
第77号議案	国立市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例案 退職手当の調整額単価の改定を行う。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	
議 案	議員提出 第16号議案	国立市議会基本条例案 必要な議会運営の基本的事項を定めることにより、市民に開かれた議会を実現し、地方自治の本旨に基づく住民の福祉の増進を図る。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	議員提出 第17号議案	国立市議会会議規則の一部を改正する規則案 国立市議会基本条例の制定に合わせ、地方自治法第100条第12項に規定する協議又は調整を行うための場を設置する。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
	議員提出 第19号議案	沖縄県民の意思を尊重し、米軍普天間基地の早期返還で「脱基地依存」の平和で豊かな社会構築を求める決議案 【提出者:小川宏美議員ほか6名(ほか賛成者2名)】 提出先:内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策、科学技術政策、宇宙政策)、衆議院議長、参議院議長、沖縄県知事) 沖縄県民の米軍基地移設反対の意思を尊重し、米軍普天間基地の早期返還と部隊の撤退による「脱基地依存」の平和で豊かな社会を構築していくよう強く求める。	○	×	○	○	×	○	○	欠	×	○	○	×
	議員提出 第20号議案	シェアハウスに居住するひとり親家庭に、実態に即して児童扶養手当、児童育成手当が支給されることを求める決議案 【提出者:前田節子議員ほか5名(ほか賛成者3名)】 提出先:厚生労働大臣、東京都知事、国立市長 1.国並びに東京都は、シェアハウスがふえている昨今の時代状況に鑑み、同一住所に異性が居住しているだけで児童扶養手当と児童育成手当が支給停止となっている現状を改善し、実態に即して支給するよう基礎自治体を指導すること 2.国立市は、国並びに東京都に対し、実態に即した判断が行われるよう要望するとともに、ひとり親家庭に対し、実態に即して児童扶養手当と児童育成手当の支給を行うこと	○	×	○	○	×	○	○	欠	×	○	○	○

議員提出議案	意見書等	議員提出第21号議案	特別支援教室モデル事業の経過の公開と学校現場や保護者等の関係者が意見を述べる場づくりを求める意見書案 【提出者：上村和子議員ほか7名（ほか賛成者2名）】 提出先：東京都知事、東京都教育委員会委員長 発達障害を抱える子どもたちの教育は早期から丁寧に行われることが重要とされる時代に、一見充実のように見える通級教室の設置が実質的後退となってしまわないためにも、改革の経過の公開と学校現場や保護者等の関係者が意見を述べる場をつくることを国立市議会として強く求める。	○	×	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	
		議員提出第22号議案	議会の議決を無視して公費を投入し続けてきた、現市政が元市長を訴える求償裁判の終結を求める決議案 【提出者：重松朋宏議員ほか5名（ほか賛成者5名）】 提出先：国立市長 再三にわたる議会の議決を無視して、元市長に対する求償裁判を公費で継続する佐藤市長に対して、直ちに控訴を取り下げて裁判を終結させることを強く求める。	○	×	○	○	×	○	×	欠	×	○	○	○	○	×
		議員提出第23号議案	手話言語法（仮称）の早期制定を求める意見書案 【提出者：藤田貴裕議員ほか5名】 提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣） 陳情第10号の採択に伴い提出されたもの	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		議員提出第24号議案	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書案 【提出者：藤田貴裕議員ほか5名】 提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、環境大臣） 陳情第12号の採択に伴い提出されたもの	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		議員提出第25号議案	家賃制度の改善と家賃引き下げを求める意見書案 【提出者：高原幸雄議員ほか4名】 提出先：内閣総理大臣、国土交通大臣、都市再生機構理事長 陳情第8号の採択に伴い提出されたもの	○	×	○	○	×	○	○	欠	×	○	○	○	○	×
		議員提出第26号議案	国立市道東第2篠線の一部一方通行化を求める意見書案 【提出者：高原幸雄議員ほか5名】 提出先：東京都公安委員会委員長 陳情第14号の採択に伴い提出されたもの	○	×	○	○	×	○	×	欠	×	○	○	○	○	×
請願・陳情		陳情第7号	2020年東京五輪のチケットを避難者に優先配布を求める意見書の提出に関する陳情 【陳情者：あきる野市民】 2013年9月時点で東京都に避難・自主避難している方に対して、希望者について五輪チケットを優先的に無償配布することを求める。	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	
		陳情第8号	都市機構の家賃値上げ幅拡大等の方針に反対し、家賃制度の改善を求める陳情 【陳情者：国立市富士見台団地自治会代表 ほか1名】 次の3点について意見書の提出を求める。 1. 家賃の引き上げ幅拡大、改定周期短縮等を策する家賃改定ルール改悪をやめ、機構法附帯決議、住宅セーフティネット法を遵守し、安心して住み続けられる家賃制度に改善すること 2. 低所得高齢者等への家賃減額措置の充実につとめ、高齢者・子育て世帯の居住安定を図ること 3. 収益本位の団地統廃合ではなく、まず空き家を早期に解消するなど、公団住宅を公共住宅として守り、国民の住生活向上とコミュニティの形成に大いに役立てること。	○	△	○	○	△	○	○	欠	△	○	○	○	△	
		陳情第10号	手話言語法制定を求める意見書提出に関する陳情 【陳情者：公益社団法人東京聴覚障害者総合支援機構・東京都聴覚障害者連盟会長】 手話が音声言語（日本語）と対等な言語であることを広く国民に広め、あらゆる場面での手話による情報の提供・獲得が行われ、きこえない子どもが手話を身に付け、手話で学べるようにするとともに、手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を早期制定する意見書を国会及び政府に提出することを求める。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		陳情第11号	第八小学校周辺道路に関する陳情 【陳情者：中の会会長ほか2名】 1. 朝の通学時間帯に、一定の時間帯通行規制（速度変更、標識の増加など）をすること。自転車用の標識、カーブミラー設置も願いたいこと。また現在、児童の安全確保の見守りに、児童保護者や育成会、中の会防災部会などのボランティアに頼らず、シルバー人材などによる「児童の安全見守りの実施」を願いたい。 2. 当該道路の横断歩道は蛍光色白線などに、歩行者対の白線の薄くなっている部分は補修をし、「止まれ」「一旦停止」など具体的に表示すること、また他の自治体で実施されている、「学校門前道路のカラー舗装」などをお願いしたい。 3. 夜間照明が暗く、周辺住民や通勤者、歩行者の姿が見えない状況が多く、危険極まりないことも実際に体験しているとの報告が寄せられていることを見ても、照明については、「将来、LED化を考えている」との回答も得ていますが、根本解決には照明機器にも問題があるように思います。即ち、ランプが明るくなくても、周囲を照らす「傘」の角度が深く、周りを広く照らすことができないことも指摘されています。早急な対策をお願いするとともに、2014年度末までに、対策と回答を要望いたします。	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
		陳情第12号	建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情 【陳情者：東京土建一般労働組合府中国立支部代表ほか1,899名】 建設アスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策を直ちにとり、アスベスト問題の早期の解決を国に働きかける意見書の提出を求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
		陳情第13号	「東京地方裁判所平成23年（ワ）第40981号損害賠償請求事件」控訴取り下げに関する陳情 【陳情者：くにたち大学通り景観市民の会代表ほか1名】 国立市議会は、佐藤一夫市長に対して控訴を取り下げるよう、さらに強い働きかけをすること。	○	×	○	○	×	○	×	欠	×	○	○	○	○	×
		陳情第14号	東京都公安委員会への意見書の提出に関する陳情 【陳情者：国立市民ほか179名】 東京都公安委員会に対して、三小の北東方面で一番近くの信号機のある交差点からファミリーマート交差点までを北方面の一方通行に、また、北東方面で一番近くの信号機のある交差点の北西角にガードレールを設ける旨の意見書を提出を求める。	○	×	○	○	×	○	×	欠	×	○	○	○	○	×
		陳情第15号	佐藤市長が大規模行為景観形成基準に「適合」と判断した17.77mの西2丁目新設マンション計画に関する陳情 【陳情者：環境を守る国立西地域の会代表ほか5名】 次の2点について陳情する。 1. エヌティティ開い開発の変更後の計画を検証し、めざすべき市街地像を明らかにした国立市都市計画マスタープランを基準に、周辺建物と調和した低中層住宅の高さまで引き下げる 2. 景観紛争予防のまちづくりを不断にすすめ、住民の景観利益を最大限活かすよう実効性のある制度を早急に確立する。	○	×	○	○	×	○	×	欠	×	○	○	○	○	×
陳情第16号	番号制度に関する陳情 【陳情者：国立市民】 共通番号制度の導入に当たっては、市報などで十分な周知を行うこと。また国立市に住む人が個人番号カードを持たなかったり、共通番号を使わない場合でも、何一つ不自由なく地域の中で暮らして、行政サービスが平等に受けられるようにしてください。	○	×	○	○	×	○	×	欠	×	○	○	○	○	×		
その他		動議による決議 国立市いじめ防止対策推進条例案に対する決議の提出を求める動議 【提出者：小川宏美議員ほか4名】 提出先：国立市長 修正された「国立市いじめ防止対策推進条例」について、以下の項目を要望する。 1. 条例の施行に当たっては、「子どもの権利条約」の理念に基づき、当事者である児童等の意見を十分に聞き、児童等がいじめから心身を守られる権利が保障されるよう努めること。	○	×	○	○	×	○	×	欠	×	○	○	○	×		
○…可決、採択    ×…否決、不採択    △…一部採択    欠…欠席（12月18日）																	
党派略称 自民明政＝自由民主党・明政会（石塚陽一・青木健・大和祥郎・石井伸之・東一良） 共産＝日本共産党（高原幸雄・長内敏之・尾張美也子） ネット＝生活者ネット（阿部美知子・小川宏美・前田節子） 公明＝公明党（小口俊明・中川喜美代） 社民＝社民党（藤田貴裕） 民主＝民主党（神田美菜子） 維新＝維新の党（生方裕一） つむぎ＝つむぎの会（池田智恵子） こぶし＝こぶしの木（上村和子） 緑＝緑の党（重松朋宏） みらい＝みらいのくにたち（望月健一） 新風＝新しい風（藤江竜三）																	